

公表 令和7年 3月 1日
事業所名 日立市母子療育ホーム

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>				
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			予約の際、どう担当したら回るか、シミュレーションが必要なことがある	ご希望の時間に合わせてサービス提供ができるよう調整しております。ご希望に沿えないこともあります。一人一人に十分なサービス提供ができるよう調整しておりますので、ご了承ください。
	3 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			車いす、バギーなどがスムーズには入れないところがある(手洗いトイレ)	構造上の問題で使いにくい場所もあるかと思えます。太陽の家のトイレを使用することや、歩行器を使用して手を洗うなど、工夫をしながら使用していきます。気が付いた点がありましたら、随時お問い合わせ下さい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>			支援計画の作成に関しては、療育担当・PT・STが介入しています。半年に1回、評価表を作成しています。
	5 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>				年に1回、アンケートを実施しています。改善点がありましたら、随時検討してまいります。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	<input type="radio"/>				保護者の方には、1年に1回アンケートの依頼をしています。アンケート結果は、職員間で共有を図っています。業務改善に繋がるよう努めています。
	7 第三者による部外評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			定期に第三者評価を受けています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>				職場内研修や、職場外研修も積極的に受けて、職員の質の向上に努めています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>				1年に1回程度、個別面談の中で、アセスメントを取らせていただいています。今後も、ご協力をお願い致します。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>				ガイドラインに合わせた「発達支援」「家族支援」「地域支援」等を含めた内容の支援計画作成を行っております。
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>				個別支援計画に合わせた支援を提供しております。随時、支援計画の変更も可能ですので、申し出て下さい。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>				機能訓練に関しては、PTを中心としたプログラム作成を行っています。集団療育の内容に関しては、職員間で計画立案をしています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>				お子さんの成長に合わせて、支援内容を変更しています。必要に応じてOTの介入を行い、職員間でも共通理解を図っています。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>				同上
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>				事前に職員間で情報共有を図っています。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>			申し送り事項は、翌日の朝会時に職員間で共通理解を図っています。
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		<input type="radio"/>			訓練後には内容を記録に残しています。
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>					
関係機関や保護者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>				担当の職員や児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しています。
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>				年に1回程度開催されるこども部会に参加し、他機関との連携を図っています。
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>				学校や病院、地域の障害福祉課、保健センター等と連携を図りながら、医療的ケアの必要なお子さんへの支援を行っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	<input type="radio"/>				学校や病院、地域の障害福祉課、保健センター等と連携を図りながら、医療的ケアの必要なお子さんへの支援を行っています。

公表 令和7年 3月 1日
事業所名 日立市母子療育ホーム

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携 関係機関や保護者との連携	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				必要に応じて情報提供をさせていただいたり、移行支援会議に出席させていただくこともありました。今後も、必要に応じて連携を図っていききたいと思います。
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				必要に応じて情報提供をさせていただいたり、移行支援会議に出席させていただくこともありました。今後も、必要に応じて連携を図っていききたいと思います。
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			必要に応じて連携を図っております。研修があった際には、積極的に参加しています。
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		現在は、年に1回の助川学区夏祭りへの参加で、お子さんと関わる機会があります。
	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			年に1回程度開催される子ども部会に参加し、他機関との連携を図っています。
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				お子さんや保護者から聞き取りの時間を設け、状況把握に努めています。
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	○		現在は、ペアレントトレーニングは行っておりません。肢体不自由児父母の会の相談会のなかで、講師のからからアドバイスをもらう機会はあります。また、家族支援の観点から、総合的に支援ができるよう努めています。
保護者への説明責任等	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				不安なこと、不明な点などがありましたら、いつでも声をかけて下さい。
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				個別支援計画は、児童発達支援のガイドラインをもとに本人、保護者からの同意を得て作成しています。
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				月2回、療育相談日を設けています。どなたでも相談が可能です。また、その他の時間も随時相談を受け付けています。
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				可能な範囲で父母の会、保護者会への協力をさせていただいております。
	35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談があった際には、迅速に対応ができるよう支援しています。必要に応じて相談支援とも連携し、対応しています。
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				月に1回、ホームだよりを発行しています。
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				情報伝達のためのコミュニケーションツールを保護者や言語聴覚士と検討しながら視覚支援等を取り入れ、聴覚等に障害のあるお子さんも安心して利用ができるよう配慮しています。
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			現在は、助川学区夏祭りに参加しています。今後、地域の方と交流できる機会を増やせるよう検討していきます。
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				年に1回、マニュアルの見直しを行っています。災害対策も含め、職員間で会議を開き検討しています。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				年に2回、避難訓練を実施しています。併せて、不審者訓練を年に1回実施しています。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				薬手帳のコピーや予防接種のコピーを取らせていただいています。かかりつけ医から、診療情報提供書を取っていただき、指示書をもとに、てんかん時の対応をとらせていただきます。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				医師からの指示がある場合には、指示書に基づいて対応させていただきます。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			ヒヤリハットは、法人全体で把握し、小さい危険も予防できるように努めています。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				管理者が研修に参加しています。
46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				危険がないよう、ベルトを着用させていただく場合があります。個別支援計画に記載し、お子さんや保護者にも説明をしています。	